

市営バスにおける試験運行（印場駅～愛知医大間） の利用状況等について

1 試験運行の概要

(1) 試験運行の背景

西ルート左回り1便において、市の西部地域から愛知医大への移動が集中し、乗りこぼしの発生頻度が高くなっていたため、利用者の分散等を目的として、現行の運転手の人数で対応できる印場駅から愛知医大までの早朝特別ダイヤを試験的に設定。

※ 早朝特別ダイヤは、平日のみに設定。

※ 本内容は、令和6年度第1回尾張旭市地域公共交通会議にて、協議済。

(2) 試験運行期間

令和6年9月2日（月）～令和7年8月29日（金）

※ 試験運行の結果を検証し、本格運行への移行を検討する。

2 試験運行の利用者実績等（R6.9.2～R7.1.17）

(1) 西ルート左回り1便の乗りこぼし件数

R 4	R 5	R 6. 4～R 6. 8 （試験運行前）	R 6. 9. 2～R 7. 1. 1 7 （試験運行後）
8 件	1 2 件	7 件	1 件

試験運行後は、左回り1便で1件乗りこぼしが発生している。

(2) 利用者数

▼1便当たりの平均利用者数：6.4人

▼1便当たりの最大利用者数：15人

(3) 1便当たりの乗降が多い停留所

番号	停留所	乗車
1	印場駅	2.9
2	本地住宅	1.8
3	南新町中畑	0.4

番号	停留所	降車
1	愛知医大	5.5
2	晴丘	0.3
3	庄南町	0.2

3 試験運行便利用者へのアンケート調査結果

(1) アンケート調査の目的

本試験運行は、乗りこぼし対策としての有効性を検証しているが、利用者の利用状況などをアンケート調査により把握し、今後の本格運行検討に向けての参考とするため。

(2) アンケート調査期間

令和7年1月14日（火）～令和7年1月17日（金）

※ 乗客が多い印場駅停留所及び本地住宅停留所にて、聞き取り調査を行うとともにバスに乗車し、アンケート調査票を配布した。

(3) アンケート結果

アンケート調査に 回答した利用者	西ルート左回り1便から 試験運行便に変更した利用者	その他
14人	4人	10人

- ・アンケート調査期間中においては、1日平均1人の利用者が西ルート左回り1便からの利用の転換をしていた。
- ・アンケート調査期間が市営バスの利用が全体的に少ない冬の時期であり、利用が多い時期に再度、アンケート調査を実施し、利用状況を改めて確認する必要がある。

4 今後の取組

試験運行実施後の乗りこぼしの発生件数やアンケートの結果から、試験運行便の実施によって、西ルート左回り1便からの利用の転換が一定程度図られたことが考えられる。

一方で、これまで利用していなかった方が市営バスを利用し始めたなど、新たな需要を生み出していることも確認された。

今後は、市営バスの利用が多い時期に改めて、試験運行便の利用者及び西ルート左回り1便にて利用の多い停留所での利用者への聞き取り調査を実施することにより、引き続き利用実態の把握を行い、今後の検討につなげる。